

「人間力」磨こう！

『耕人塾』の趣旨に、「人間力を磨き・・・」があります。『耕人塾』では、「人間力」の要素を「徳・体・知」の総合的な力と捉え、「徳を養い・心体を鍛え・知を高める」としています。そのことについて具体的に述べたいと思います。

「徳を養う」とは、誠実さや謙虚さ、使命感や意志力、自主・自律の精神や他の人と協調しながら目的を達成しようとする力、思いやりや優しさ、奉仕の心や実践力などを養うことです。班ごとのディスカッションや日本の伝統文化の体験（茶道）、実践活動「あいさつ・清掃・ゴミ拾い」や活動後の後片付けなどを通じて他とのかかわりを意識しながら、自分の言動を磨いていくことが徳を養うことに繋がります。

「心体を鍛える」とは、心と体は一体であり、「心」の面では明るさや素直さ、物事に取り組む意欲や忍耐力、「体」の面では健康や体力、運動能力や持久力などが含まれます。人生を力強く生きていくためには、心も体も鍛えることが大切です。武道やニュースポーツの体験などを計画していますが、『耕人塾』での体験はきっかけをつくることなので、各自家庭や学校でそれぞれの目標を持って心と体を鍛えるために、継続して取り組んでほしいと思っています。

「知を高める」とは、知識・理解はもとより、課題発見力や問題解決力、論理的思考力や想像力を高めることです。『耕人塾』では、それぞれの持っている「知」を土台としながら、石巻地域で活躍している方々の講話や班での話し合いを通じて課題を解決していく力などを高めてほしいと思います。この「徳・体・知」の三つの要素をバランスよく向上させることが「人間力を磨く」ことにつながります。

塾生の皆さんが「人間力を磨く」ために、参考になる言葉を3つ挙げます。これからの活動の中で意識して取り組んでほしいと思っています。

- ① 「その時の出逢いが 人生を根底から変えることがある」：出会いは自分を変えるきっかけになります。多くの出会いの中で、自分という人間を深く広く耕してほしいと思います。
- ② 「失敗は学びである」：失敗を恐れず挑戦してみてください。思い通りにいかないこともあります。失敗から学ぶことによって新しい自分に出会えるかも知れません。
- ③ 「楽しさとは与えられるものではなく、自らつくり出すもの」：自分が楽しいだけでなく、回りをも楽しくさせるにはどうしたらよいか工夫・実践してみてください。

『耕人塾』での出会いがかけがえのないものになり、「人間力」を磨くことを通じて新たな自分をつくるきっかけになったら素晴らしいですね。

第4回『耕人塾』実践活動で感動したこと

7月24日(土)7:30~8:30、第4回『耕人塾』女川駅周辺のゴミ拾いにコロナ禍にもかかわらず、塾生や保護者等25人も集まってくれました。駅周辺にはゴミは少なかったので岸壁近くでゴミを拾っていたら、塾生も三々五々集まって来て、祭りの準備をしている人とあいさつを交わしながらゴミを拾っていました。40分後、駅前に集合してゴミの分別をしたのですが、塾生は進んで自分の役割を探し、皆で協力しながら瞬く間に分別が終了しました。その動きを見て、『耕人塾』のコンセプトである「主体」が身についていると感じ、とても嬉しくなりました。特に、用具などの後片付けや運搬など、進んでやっている塾生の姿から、周りへの配慮や場に応じて自分はどう動くことが大事なかが身についていることに感動しました。

12年ぶりの「おながわみなと祭り」が、世界に誇れるお祭りになったとしたら、『耕人塾』の実践活動も陰の力になったのではないかと思ひながら、清々しい気持ちで帰路に着きました。